

事業番号	08 04 02	事業改善シート(25年度実施事業分)		■予算要求	□予算案	□点検
事業名	皆で取り組む園芸振興事業			担当課	部局	農政部
総合5か年計画	プロジェクト			課・室	園芸畜産課	
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業		E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
		◆自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産		実施期間	H17 ~	

1 事業の概要

目指す姿	行政・研究・生産・流通・販売団体等が組織横断的に連携し、相互の英知を結集しながら生産振興に係る広域的な課題や重点的な取り組み方向、消費者からの求評等の各種課題等に対し協働して、一体的な体制で取り組むことにより、競争力と収益力の高い園芸産地の育成を目指す。		
現状	長野県の園芸作物(果樹、野菜、花き、きのこ)は、県農業産出額の70%(平成22年度の園芸作物産出額1,942億円、全国第4位)の主要部門であり引き続き生産力の維持が重要な課題となっている。特に、園芸作物の生産において、多様な気象条件を有する県土の利点を活用しながら、重要な生産課題を設定し構成団体が力を結集して解決につなげ生産力を維持することが重要である。		
県が関与する理由	<input type="checkbox"/> 法令等義務 <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> 県でなければ実施不可 <input checked="" type="checkbox"/> 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 <input type="checkbox"/> その他()	【左記の説明、根拠法令等】 園芸振興に効果的な施策を展開し、県民の主体的な参画と協同を促す。 第2期長野県食と農業農村振興計画	

成果目標・事業内容	① 成果目標(H25)					
	○果樹:早期多収・省力栽培技術の推進に向けた研修会 3回、新品種の消費者求評 2回 ○花き:カーネーション等の出荷量・品質の向上に向けた技術実証ほ 9カ所 ○野菜:収量性向上モデルほ場の設置 21カ所、アスパラガス・果菜類の生産振興に向けた研修会 6回					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H25実施内容	H24 (当初)	H25 (要求)	H25 (予算案)
	県オリジナル果樹品種等の生産拡大及び消費と連動した生産振興	補助金	りんご、ぶどう等新品種の検討会開催ほか(研修会 3回)	1,708	1,537	
	高品質な花きを安定生産するための生産・流通技術の導入	補助金	カーネーション等の品質・生産性向上に係る現地実証ほの設置ほか(実証ほ9カ所)	626	563	
野菜の品質の向上及び多品目化等実需者が求める生産の推進	補助金	アスパラガス、果菜類等の品質・生産性向上に向けた研修会の開催(6回)、優良品種選定に係る現地実証ほの設置ほか(実証ほ21カ所)	861	1,130		
野菜優良品種選定調査事業	委託料		395	0		
合計			3,590	3,230	0	

事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25要求	25予算案
	前年度繰越					
	当初予算	4,659	3,977	3,590	3,230	
	補正予算					
	合計(A)	4,659	3,977	3,590	3,230	0
	国庫支出金					
	県債					
	その他(繰入金)					
	一般財源	4,659	3,977	3,590	3,230	0
	決算額(B)	4,659	3,977			
概算職員数(人)	0.30	0.30	0.30	0.30		
概算人件費	2,495	2,477	2,477	2,477	0	
概算事業費(B(A)+C)	7,154	6,454	6,067	5,707	0	

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H25			H26 目標
		目標	成果	達成状況	
果樹早期多収・省力栽培研修会	3回 80人	3回 100人			
果樹新品種の消費者求評	2回	2回			
カーネーション等の出荷量・品質の向上に向けた実証ほ	7カ所	9カ所			
野菜収量性向上モデルほの設置	21カ所	21カ所			
アスパラガス・果菜類の生産振興に向けた研修会	6回 380人	6回 430人			

要求からの主な変更点	
------------	--